

令和5年7月吉日

JaCVAM ステークホルダー会議参加登録機関 御中

国立医薬品衛生研究所
安全性生物試験研究センター
日本動物実験代替法評価センター
平林容子

OECD バリデーションの運営と財政に関するアンケートご協力について（依頼）

謹啓

貴機関におかれましては益々御清栄のこととお慶び申し上げます。平素は、日本動物実験代替法評価センター(JaCVAM)の業務に御協力をいただき厚く御礼申し上げます。

さて、先日の JaCVAM ステークホルダー会議にてお知らせした通り、OECD では本年 12 月に、Emerging technologies を用いた動物実験代替法のテストガイドライン開発促進を目的とし、”Stakeholders workshop on organizational and financial aspects of validation and survey”を開催する予定となっております。このワークショップ開催にあたり、専門家、受託機関、業界などテストガイドライン開発の利害関係者を対象とした online によるアンケートを実施する運びとなりました。

今後、全身毒性評価など複雑化・高度化する動物実験代替法のテストガイドラインの成立を加速するためには、OECD ガイダンス文書 No.34 に規定されるバリデーションのあり方を大きく見直す必要があるとされております。これまで同様、日本から積極的にテストガイドラインを提案するためにも、国内の利害関係者の皆様のご意見が大変重要になります。

つきましてはお手数をお掛けしますが、貴機関傘下の企業、会員の皆様に本依頼書と別添の letter をお送りいただき、letter にあります URL: <https://forms.office.com/e/eTsrektx5q> からアンケートの質問に積極的にお答えくださいますようお願いいたします。質問への回答は英語となりますがご容赦ください。また締め切りは9月15日となっております。

なお、回答に際し、ご質問などがございましたら、JaCVAM 事務局(takao.ashikaga@nihs.go.jp)までお知らせください。

以上ご協力の程よろしくお願いいたします。

敬具